

2022年度（2023年3月期）通期決算説明資料



株式会社ユニリタ（証券コード：3800）

2023年05月12日



業績報告

● 業績報告

- 業績ハイライト
- 2022年度 通期連結業績
- 営業利益の増減要因

● 事業セグメント別業績報告

- プロダクトサービス概況
- クラウドサービス概況
- プロフェッショナルサービス概況

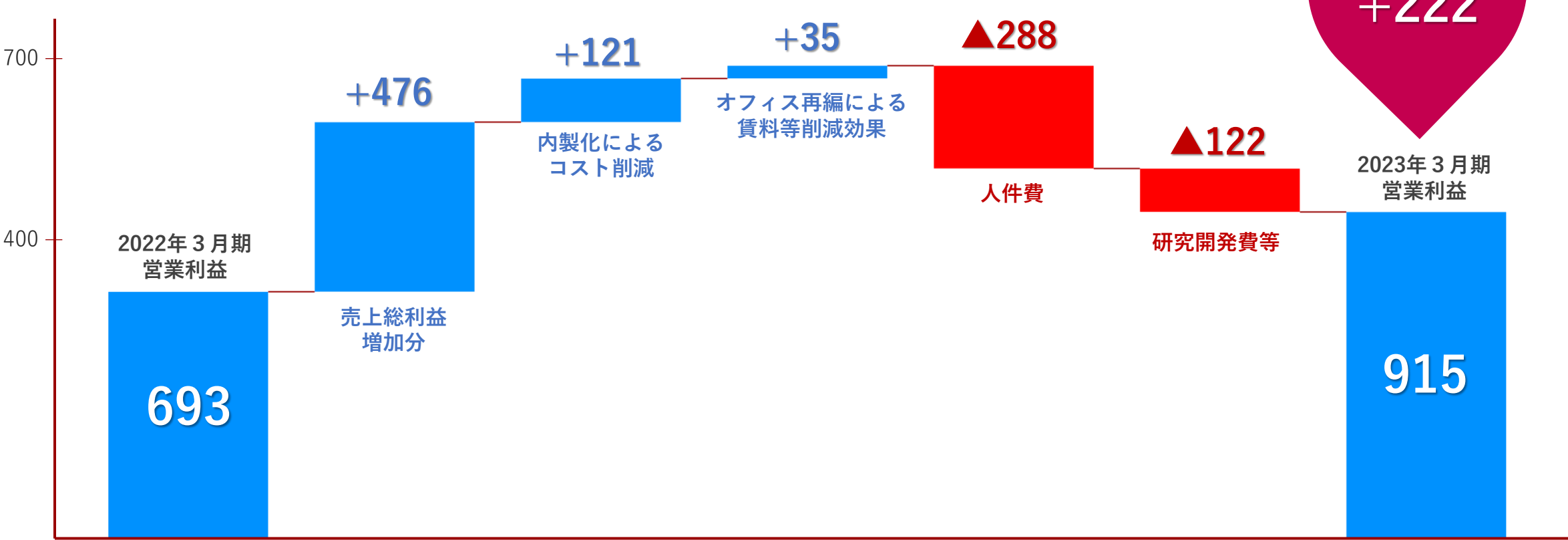
- 前期比増収増益、計画値を超過達成
- プロダクトサービス、ビジネスモデルのサービス化堅調
- クラウドサービス、IT活用クラウドを軸に増収、損益改善
- プロフェッショナルサービス、DX投資を追い風に増収増益

2022年度 通期連結業績

業績	2021年度	2022年度		2022年度	
	通期実績	通期実績	前期比	通期計画値	達成率
売上高	10,441	11,549	+10.6%	10,900	106.0%
営業利益	693	915	+32.1%	750	122.3%
営業利益率	6.6%	7.9%	+1.3pt	6.9%	+1.0pt
経常利益	828	1,132	+36.7%	865	130.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	522	752	+44.1%	565	133.2%

業績報告 - 営業利益の増減要因 -

(単位：百万円)



- 増加要因：全セグメント増収に伴う売上総利益の増加
- 増加要因：保守サポート等の内製化推進による外注費削減効果
- 減少要因：賃金改善動向に伴う人件費増、および農業IT、データサイエンス領域の研究開発費増

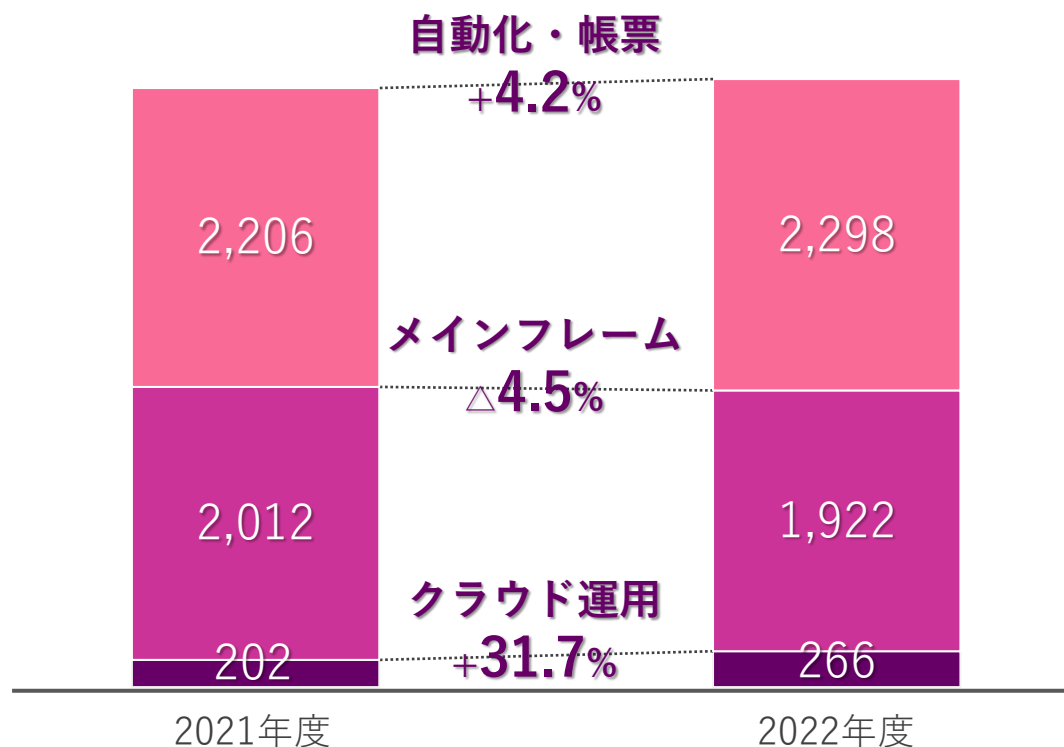
事業セグメント別業績概況

(単位：百万円)	2021年度	2022年度				2022年度	
	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	前期比	通期計画値	達成率
売上高							
プロダクトサービス	4,420	2,208	2,279	4,488	+1.5%	4,384	102.4%
クラウドサービス	2,958	1,562	1,747	3,310	+11.9%	3,252	101.8%
プロフェッショナルサービス	3,062	1,668	2,081	3,750	+22.5%	3,264	114.9%
営業利益							
プロダクトサービス	1,254	536	556	1,093	▲12.8%	950	115.1%
クラウドサービス	▲365	▲154	▲42	▲197	—	▲28	—
プロフェッショナルサービス	84	65	232	298	+253.0%	203	146.9%

プロダクトサービス -ビジネスモデルのサービス化堅調-

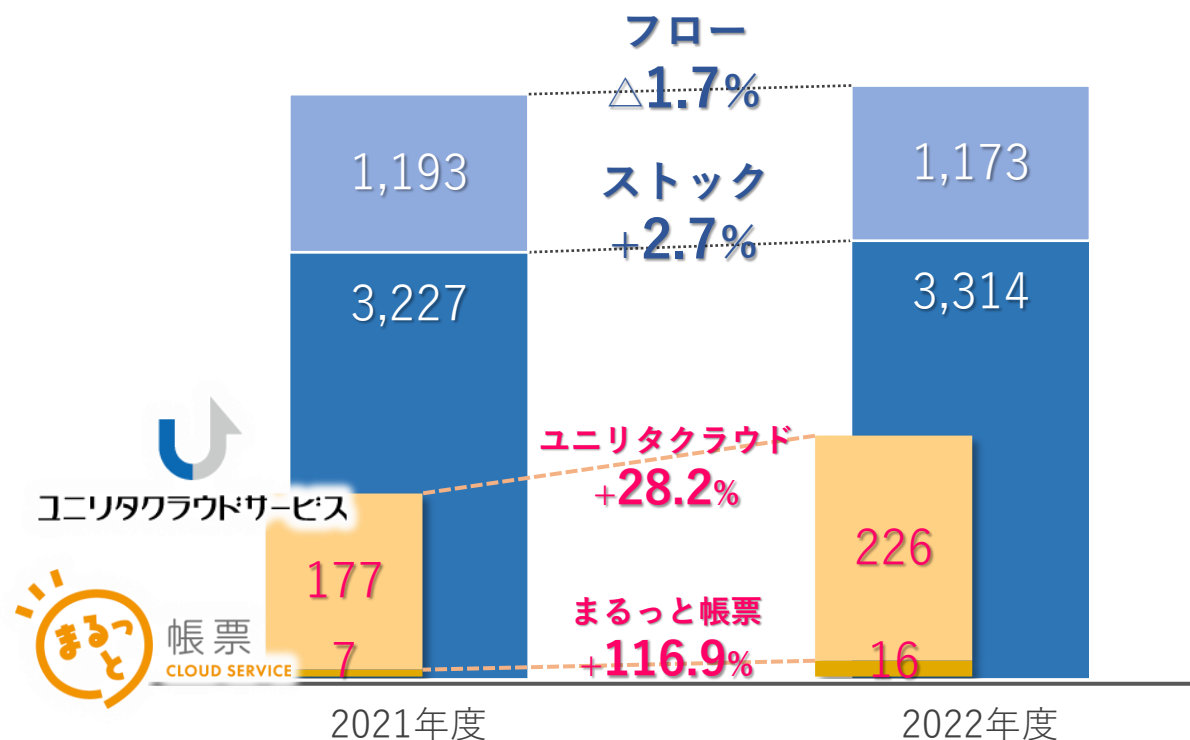
【売上高推移】

(単位：百万円)



【売上構成推移】

(単位：百万円)

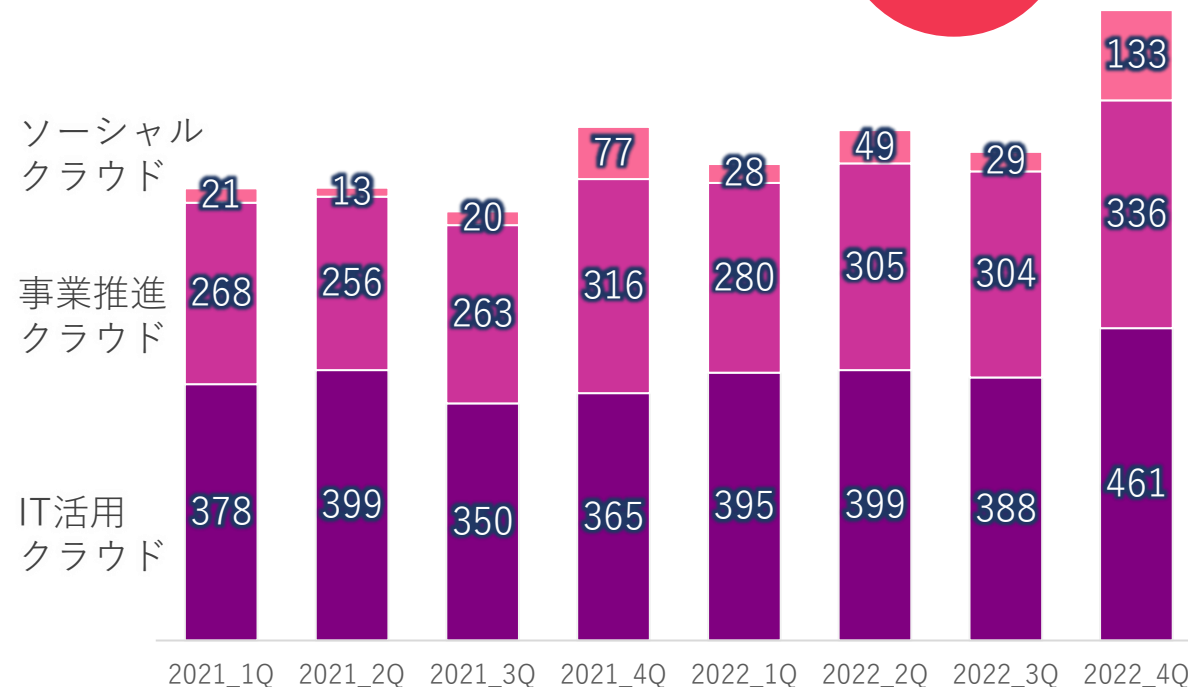


- 自動化・帳票：プロアクティブな営業活動でシステム更改や再構築によるクラウドリフトなどの提案機会が増加、法改正に伴う電子化対応の動きを追い風に、「まるっと帳票」が堅調に立ち上がる
- クラウド運用：基幹システムのクラウドリフトニーズの増加に伴い、「ユニリタクラウド」も伸長
- メインフレーム：市場が縮小傾向にあるものの、堅実に売上・利益を確保

クラウドサービス -IT活用クラウドを軸に増収、損益改善-

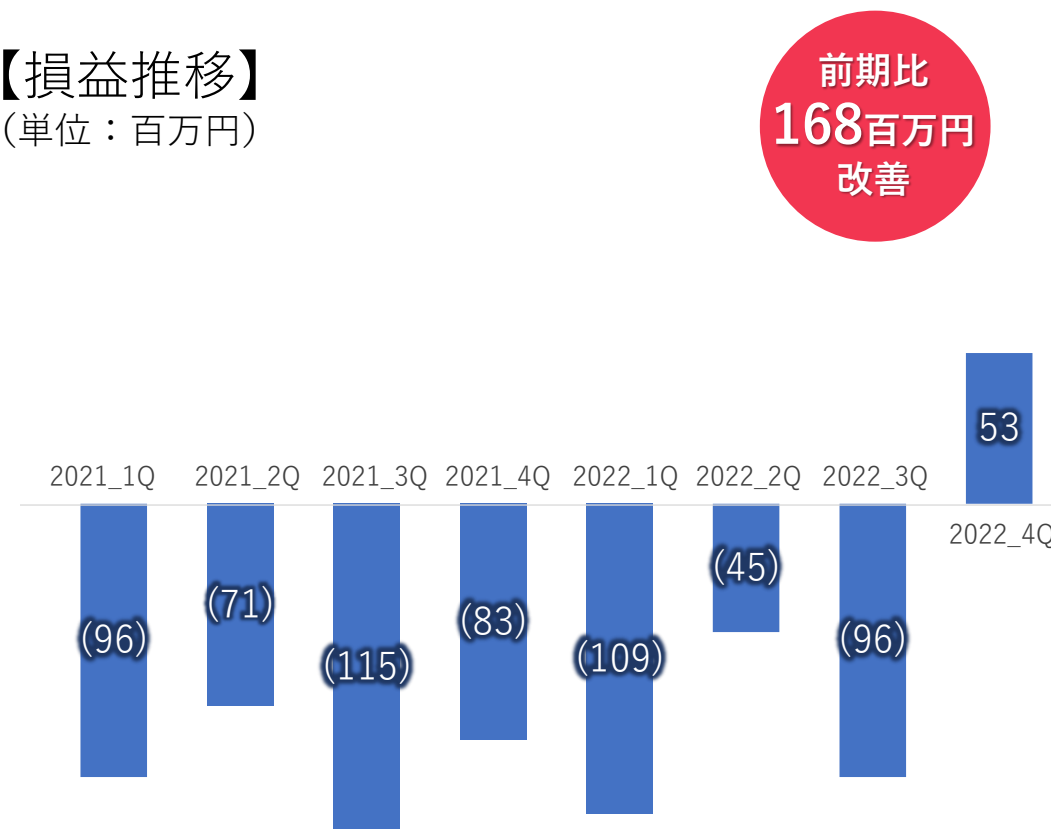
【売上高推移】

(単位：百万円)



【損益推移】

(単位：百万円)

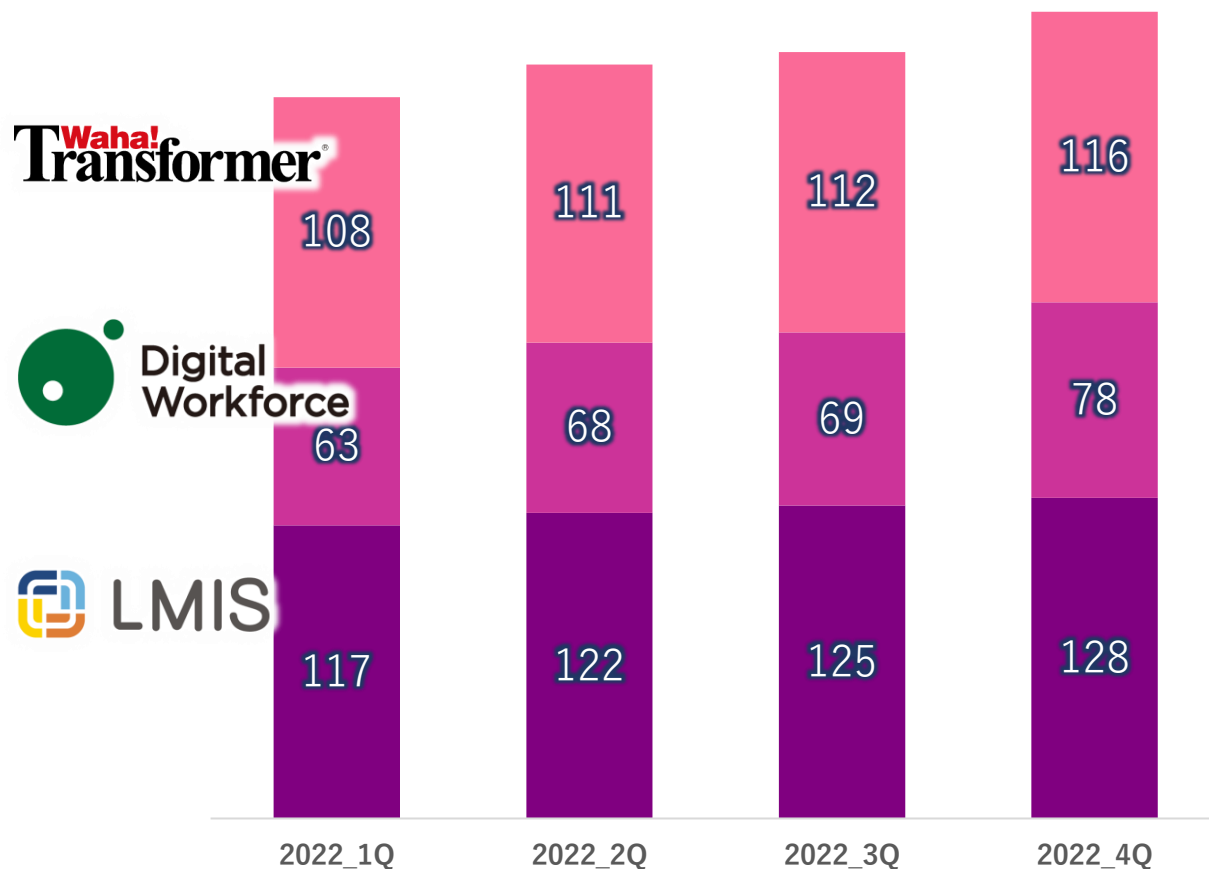


- IT活用クラウド：企業のDX投資を背景に、情報システム部門向けサービスが好調
- 事業推進クラウド：通勤費管理クラウドサービスや人材ビジネス向け人事管理クラウドサービスが伸長
- ソーシャルクラウド：移動体IoT技術で支援するサービスについて、交通に関する課題を抱える自治体向けへ販売戦略を転換し受注増加。収益面の回復に課題を残す。

クラウドサービス -IT活用クラウド主要サービスの売上推移-




【売上高推移】

(単位：百万円)



【前期比成長率と2022年度の動向】

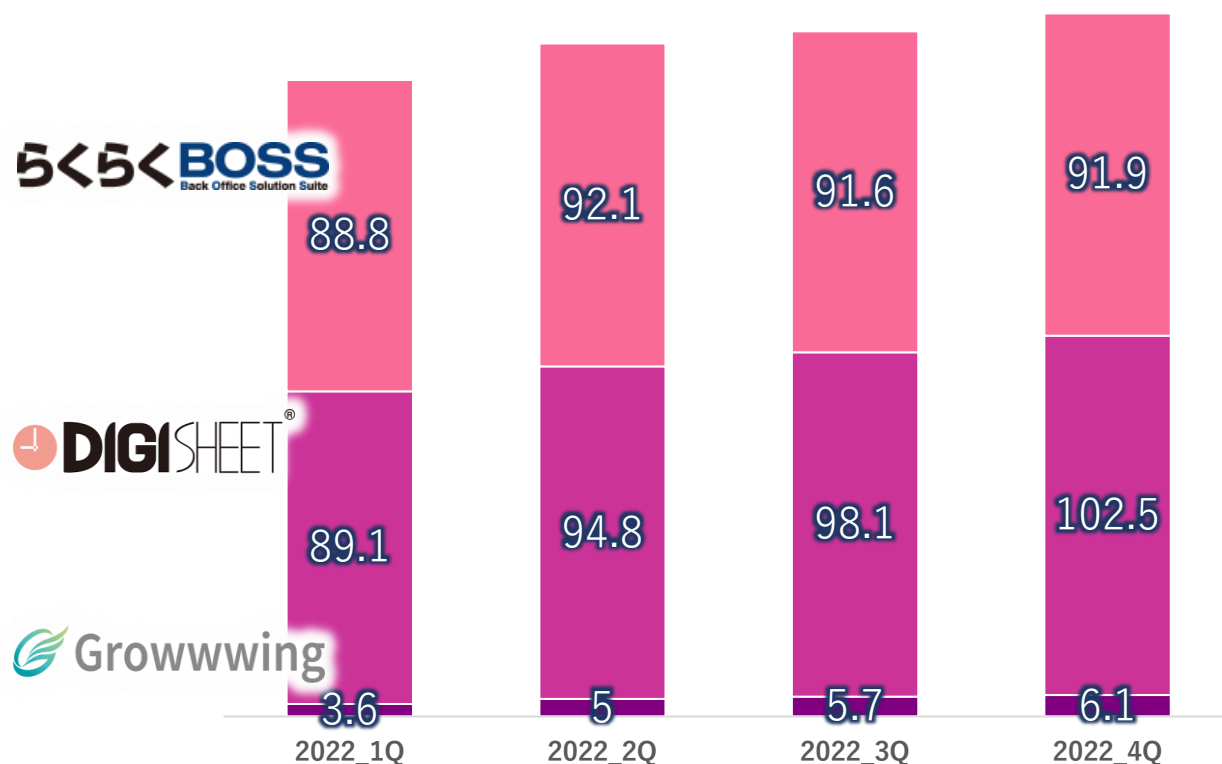
※ () 内数値 単位：百万円

 データ加工・連携 クラウドサービス	前期比成長率 + 8.6% (2021年：412／2022年：448)
	データマネジメントに取り組む企業の増加に伴い、ETLツール需要の拡大
 リモートワーク 環境構築サービス	前期比成長率 + 28.5% (2021年：217／2022年：279)
	複雑化するシステムや多様化する労働環境に対応する高度なID管理の需要を捉え、大規模受注が増加、大幅伸長
 サービスマネジメント プラットフォーム	前期比成長率 + 13.9% (2021年：433／2022年：494)
	サービスマネジメントの重要性の高まりを受け、ITベンダーやアウトソーサーからの需要拡大により伸長

クラウドサービス –事業推進クラウド主要サービスの売上推移–




【売上高推移】

(単位：百万円)



【前期比成長率と2022年度の動向】

※ () 内数値 単位：百万円

 通勤費管理 クラウドサービス	前期比成長率 + 6.7% (2021年：341／2022年：364)
	スマホ申請オプションをリリース、既存ユーザの利用者数アップや、新規マーケット獲得のための提案が増加
 人材ビジネス向け 人事管理 クラウドサービス	前期比成長率 + 19.5% (2021年：321／2022年：384)
	(株) アスペックスと (株) ビジネスアプリケーションの統合とサービス連携によるシナジー効果で伸長
 LTV※を最大化する カスタマーサク セスサービス	前期比成長率 + 129.3% (2021年：8／2022年：20)
	顧客基盤を活かし、エンタープライズ企業アプローチを強化、案件単価上昇

※LTV (Life Time Value：顧客生涯価値)

クラウドサービス –ソーシャルクラウド 移動体IoT技術サービスの概況–

【全国導入マップ】

(自治体・公共交通向けサービス)

ニセコエリア

MaaS導入に向けた広域交通事業

北海道全域の交通オープンデータ
(GTFS-JP)整備事業

石川県小松市 (データ分析)

四国 複数自治体にて
分析前の可視化事業

千葉県庁と
小湊鐵道 (株)
(データ分析)

横浜みなとみらい
(データ分析)

鹿児島県・佐賀県
乗合バス事業者向けサービス

※非公開の地域・自治体を含む

【日経メディア掲載】

北海道ニセコエリア
路線バス運行
データ分析

日経産業新聞
2023年2月14日

北海道ニセコエリアのバス走行データを基に、最適な路線やダイヤ改正案、運賃などを提案

「百度地図」向けに、北海道の最新交通データ提供サービスを開始

日本経済新聞
2022年8月17日

Google Mapが使えない中国人観光客が持参するスマートフォンに対応

石川県小松市とコミュニティバスの運行効率を高めるための実証実験

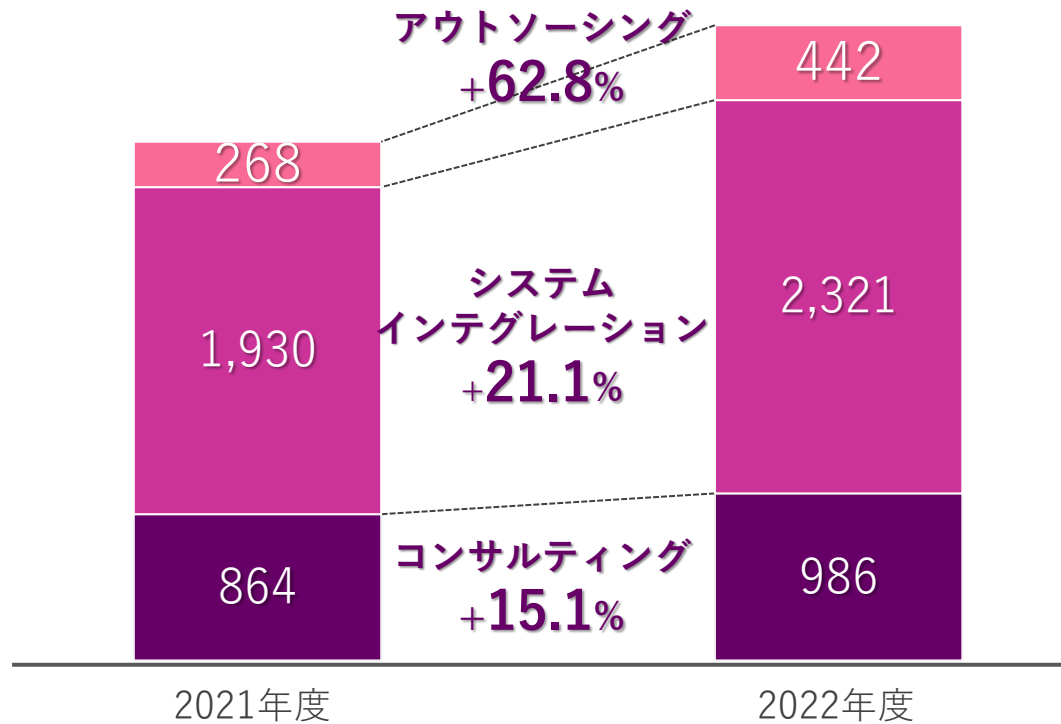
日本経済新聞
2021年1月21日

石川県小松市のコミュニティバス車内にIoTセンサーを設置、運行ルートや乗客人数などのデータを分析

プロフェッショナルサービス - DX投資を追い風に増収増益 -

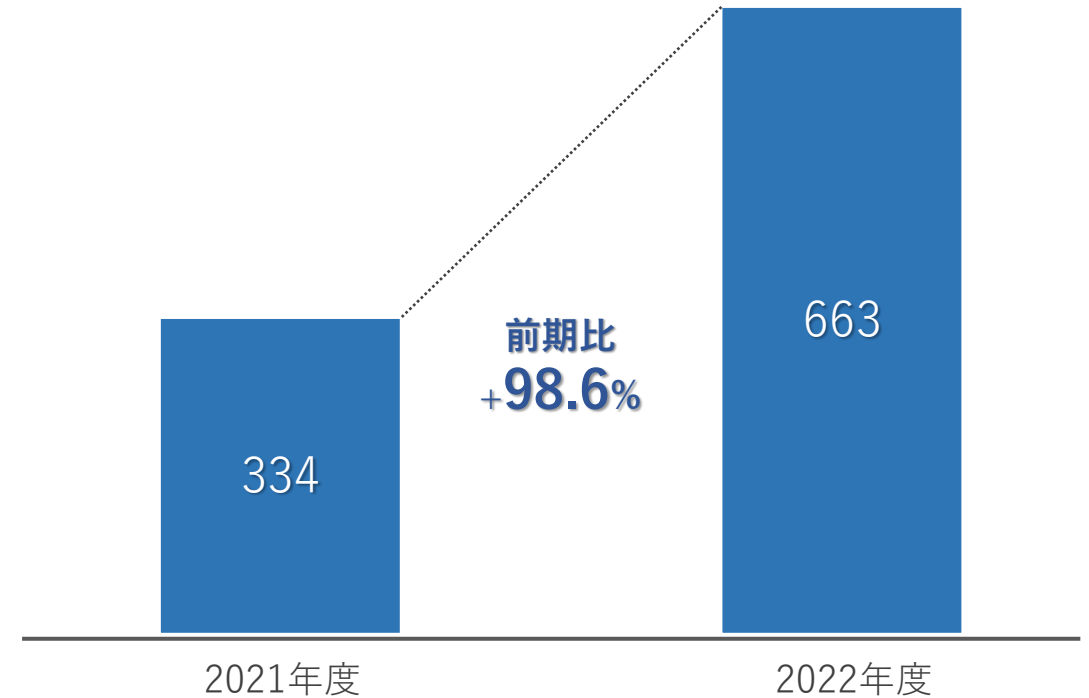
【売上高推移】

(単位：百万円)



【受注残高推移】

(単位：百万円)



- コンサルティング：データ・サービスマネジメント領域の専門性が、DX投資ニーズにマッチし受注好調
- システムインテグレーション：グループ顧客基盤を活用した受注が増加、高収益型案件増加により利益率上昇
- アウトソーシング：DX推進を背景にIT人材確保や業務シフトの加速を受け、システム運用代行サービスが拡大

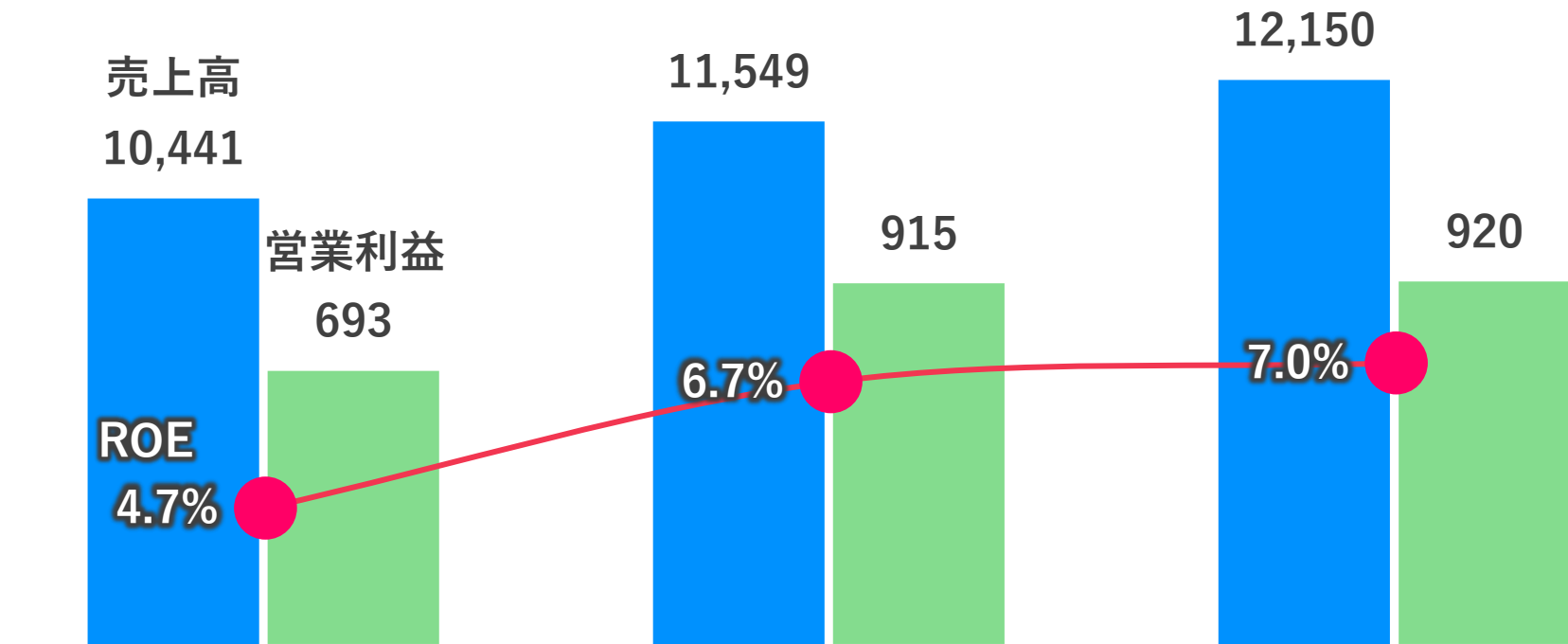
計数計画 株主還元

UNIRITA

- 計数実績および計画
- 株主還元方針

計数実績および計画

(単位：百万円)

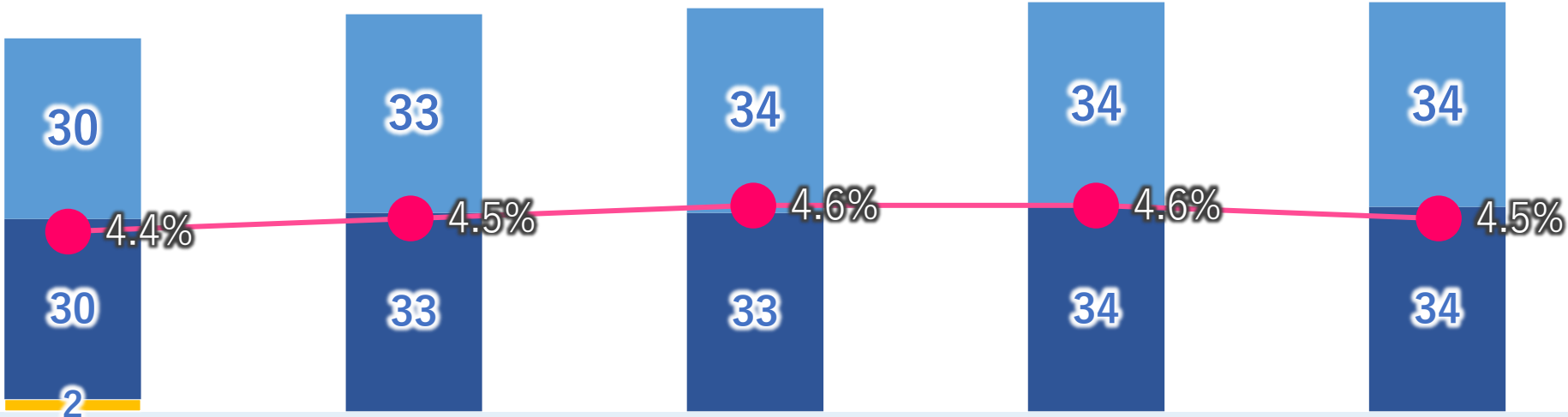


	2021年度	2022年度	2023年度 (計画)
売上高 (百万円)	10,441	11,549	12,150
営業利益 (百万円)	693	915	920
営業利益率	6.6%	7.9%	7.6%
当期純利益 (百万円)	522	752	800
ROE	4.7%	6.7%	7.0%

株主還元方針

- 株主資本を基準とする DOE を採用、配当金（普通配当）は維持もしくは増配方針
- 自社株買いを機動的に実施、取得済み分は、株式報酬に充当するほか適宜消却を実施

(単位：円)



(1株あたり)

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 (計画)

中間配当	30円	33円	33円	34円	34円
期末配当	30円	33円	34円	34円	34円
特別配当	2円	-	-	-	-
DOE	4.4%	4.5%	4.6%	4.6%	4.5%



Create Your Business Value

～真のデジタル変革パートナーを目指して、お客様と共に～

<本資料に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。